

令和5年度 指定管理者モニタリングチェックシート

評価期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
施設名	若山牧水記念文学館、若山牧水生家	指定管理者名	日向若山牧水顕彰会
所管課	スポーツ・文化振興課	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

自己評価 (指定管理者が記載)	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され行動制限等が緩和されたことから、入館者は若干増加し、収益事業ともに感染拡大以前の状態に回復しつつあり、ようやく通常の業務運営に戻ることができた年であった。展示については、常設展示の入替え、企画展示室での諸企画展の開催、ギャラリーでの展示等、年間を通して開催することができた。特に、当文学館館長の伊藤一彦氏の旭日小綬章受章記念として開催した企画展「伊藤一彦展」には多くの来観者があり好評を得た。「第73回牧水祭」は4年ぶりの通常開催となり、県内外から多くの参加者があり盛会であった。来館者に対しては、場に応じた対応など適切な接遇に務めるなどサービスの向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自主的ではあるが、昨年に引き続き来館者カードの記入、手指消毒、検温の協力を依頼するなどの対応に努めた。記念施設の管理運営については、ウクライナ情勢、急激な円安等による物価高により管理経費が増加傾向となる中ではあったが、市と連携しテラスの塗装、浄化槽電気系統の修繕を実施。消耗品、光熱水費等需用費の節減を図るなど適正な維持管理に努めた。
--------------------	--

評価項目	評価内容	評価		確認資料等	
		指定管理者	市		
① 利用 状況 ・ サー ビス 向上	施設（サービス）の利用状況	利用者数が前年度実績や目標を上回っているか。施設の稼働率はどうか。	B	A	日報、月報、事業報告書
	施設の平等利用	利用者の平等な利用が確保されているか。	A	B	日報、月報、利用者アンケート
	苦情・要望等への対応	苦情、要望等を施設の管理運営に反映できているか。また、苦情数は減少しているか。	A	A	利用者アンケート
	利用者満足度	利用者アンケートは適切に実施されているか。その結果を施設の管理運営に反映できているか。	B	B	利用者アンケート
	サービス向上への取り組み	サービス向上に向けた具体的な取り組みがあるか。（自主事業の周知、接客態度、予約方法の工夫等）	A	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の実施状況	施設の設置目的に沿った自主事業を実施できたか。また、それによって施設利用者は増加したか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	①の総括		B	B	
② 管理 能力	人員配置の状況	事業計画書の通り人員が配置されているか。必要な資格や経験を有する人員が確保されているか。	C	B	人員配置計画、出勤簿、実地
	人材育成の状況	事業計画書の通り従業員の指導育成及び研修が行われているか。	B	B	研修マニュアル
	コンプライアンスについて	関係法令や市条例、市規則、その他市が定める規程及び仕様書に基づき適切に業務を遂行しているか。	A	B	業務ガイドライン等、実地
	従業員の労働環境	労働法令の遵守や労働条件への配慮がなされているか。	B	B	実地、出勤簿
	外部委託等の状況	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていないか。	A	B	実地
	防犯、防災に対する態勢	避難経路の確保や事故防止策など、緊急事態への対策ができているか。	A	B	実地
	緊急事態に対する態勢	安全・衛生管理や危機管理に対するマニュアル等の整備や従業員の訓練する等、適切に行われているか。	B	B	危機管理マニュアル等、実地
	個人情報の保護	個人情報保護の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	A	B	個人情報保護マニュアル等、実地
	情報公開の規程状況	情報公開の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	情報公開マニュアル等、実地
	文書管理について	作成受領した文書は適切に保管及び管理されているか。	B	B	実地、保存文書
	環境への配慮	環境に配慮した物品の購入、省エネの取組、リサイクルの推進等の対応を適切に行っているか。	A	B	日報、月報、実地
②の総括		B	B		

評価項目	評価内容	評価		確認資料等	
		指定管理者	市		
③維持管理・経理状況	施設、設備等の管理状況	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っているか。	A	B	日報、月報、点検報告書、実地
	清掃、警備業務の実施状況	仕様書等に基づき、清掃業務、警備業務を適切に行っているか。	A	B	日報、月報、実地
	備品等の管理状況	備品台帳に基づき、備品等を適切に管理・保管しているか。	B	B	備品台帳、実地
	指定管理業務の収支状況	収支状況が当初の目標を達成しているか。(利用料金、委託料等の実績)	B	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の収支状況	自主事業の収支状況が当初の目標を達成しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	経費削減の取り組み	経費削減の取り組みが行われ、成果があらわれているか。	A	B	日報、月報、事業報告書
	③の総括		B	B	
総合評価	①、②、③の総括による総合評価	B	B		

※総合評価の理由	<p>新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行し、行動制限がなくなったこともあり入館者数は前年度から626人増加し、コロナ禍前の水準に回復してきました。特に企画展「伊藤一彦展」は多くの入館者を集め好評を博しました。企画の内容によって集客力が違うことを改めて証明した形であり、今後も展示内容を工夫し、顕彰活動の推進および集客に努めていただきたい。</p> <p>苦情件数も減少しているほか、利用者からの文学館入口以外、美郷町にも広報パネルを設置してほしいといった要望にも速やかに対応しており、満足度向上につながっている点は評価できます。</p>
※特記事項 (成果・課題等)	<p>入館者の増加は開館以来の大きな課題です。コロナ禍での規制が緩和され入館者数は増えていますが、入館者に対する「ふるさと再発見事業」を利用した児童・生徒が大きな割合を占めている状況です。この事業による入館する児童・生徒は入館料減免対象となっており、利用料金を増やすため一般の利用者を増やす取組の工夫が必要です。</p> <p>牧水顕彰事業に関わる人や牧水に関心のある人の年代が高く、今後先細りが危惧されることから魅力ある事業の実施やSNSでの情報発信強化に努めていただきたい。</p> <p>施設の安全管理に努め、来館者が快適に利用できるようにサービス向上への取り組みを継続していただきたい。</p>

※総合評価の理由及び特記事項(成果・課題等)は市所管課が記載します。

評価区分	評価基準	<p>A(優良) = 協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた</p> <p>B(良好) = 協定書等を遵守し、その水準におおむね沿った管理が行われた</p> <p>C(課題含) = 協定等をおおむね遵守しているが、一部に課題が残る内容であった</p> <p>D(要改善) = 協定書等を遵守しておらず、改善が必要な内容であった</p>
	総括	<p>A(優良) = 評価基準が全てB以上であり、かつAが過半数以上である</p> <p>B(良好) = 評価基準が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である</p> <p>C(課題含) = 評価基準が全てC以上である</p> <p>D(要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>
	総合評価	<p>A(優良) = 総括が全てB以上であり、かつAが2つ以上ある</p> <p>B(良好) = 総括が全てB以上である</p> <p>C(課題含) = 総括が全てC以上である</p> <p>D(要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>